

事業番号	08 02 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光産業受入環境向上事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課		
		実施期間	H25 ～	E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	④観光消費額						
総合的に展開する重点政策	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり						

1 現状と課題

・これまで「おもてなしマイスター」の養成や「信州まごころトイレ」の認定等により進めてきた観光客へのおもてなし向上の制度的な取組については、一定の成果を挙げたと認識。今後は、各地域のおもてなしマイスターの有機的な連携・情報発信・情報共有を促し、地域全体のさらなるおもてなし向上を進めていく必要がある。

・信州ユニバーサルツーリズムの受入環境づくりのため、実務専門人材の育成に取り組んできたが、受入環境が整っているのは一部地域にとどまっており、全県でユニバーサルツーリズムを受入可能とするため、継続的な人材育成に加え先進地域の取組について横展開が必要。

・新たな旅のスタイルとしてサイクルツーリズムが注目を集める中、本県のJapan Alps Cyclingブランドの構築に向けて、県1周サイクリングルート「Japan Alps Cycling Road」を活用した誘客の仕組みづくりが必要。

2 事業目的

多様化する観光客のニーズに対応するため、観光に携わる様々な人材のおもてなし向上を図るとともに、観光関連産業における人材の育成・確保、信州型ユニバーサルツーリズムやJapan Alps Cycling Road等本県の観光資源を活かした新たな魅力の発掘・育成を通じ、世界を魅了する観光地域としての受入環境づくりを図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ① 信州おもてなしフォーラムの開催
- ・これまで養成してきた県内各地のおもてなしマイスターと連携し、県民誰もが参加できる「おもてなし」の取組の啓発イベントを開催
- ② 信州型ユニバーサルツーリズムの推進
- ・信州大学と共同で、ユニバーサルツーリズムに係る専門知識を持つ人材の育成や、特別支援学校等と連携した学習旅行支援の実証事業を行い、受入環境づくりを推進
- ・フォーラムの開催を通じて、各地のユニバーサルツーリズム関連旅行商品や実務専門人材の活動紹介を行い、信州型ユニバーサルツーリズムをPR
- ③ Japan Alps Cyclingブランドの構築
- ・サイクルツーリズムの推進に取り組むJapan Alps Cycling プロジェクトと連携し、総合サイト「Japan Alps Cycling」の運営や、長野県1周ルート「Japan Alps Cycling Road」のルート確定に向けたモニターツアーの実施、地域の取組を主導する人材育成を推進

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	宿泊業、飲食サービス業就業者数(各年末)	人	58,924	59,923	↗	70,882	↗	73,515	未達成	ビジネスモデル改革や新たなツーリズム振興を通じ、観光産業における人材確保、就業者数の増加に寄与しているか否かを確認する指標として設定。目標値は、基準値56,550人（H29.12末毎月勤労統計）の5年後（R4年）の目標値73,515人（基準値の1.3倍）をもとに算出。	
②	ユニバーサルツーリズム専門人材数（累積）	人	28	48	↗	71	↗	63	達成	ユニバーサルツーリズムの受入環境づくりに向けた重点要素として設定。目標値は本事業で目標とする年度内育成人数（15名）をもとに設定。	
③	サイクルツーリズムの取組を地域で主導する人材数（累積）	人	-	10	↗	14	↗	30	未達成	サイクルツーリズムの受入環境づくりに向けた重点要素として設定。目標値は、本事業で目標とする年度内育成人数（20名）をもとに設定。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	16,188	0	16,188	15,938	15,079	6.0
R3年度	0	21,784	0	21,784	16,755	20,955	5.4
R2年度	0	36,305	△ 14,539	21,766	8,543	15,332	7.4

事業番号	08 02 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光産業受入環境向上事業		部局	観光部	課・室	観光誘客課

6 主な取組実績と成果

① 信州おもてなしフォーラムの開催

・これまでのおもてなし推進事業の振り返り、観光事業者の共生社会づくりの契機とするため信州おもてなしフォーラムを開催（会場：ホクト文化ホール）

・オンライン配信も同時に行い、参加者数は103名。

・参加者の9割が「今後おもてなしに関する考えや行動について考えるきっかけとなった」と回答



② 信州型ユニバーサルツーリズム（UT）の推進

・信州ユニバーサルツーリズムフォーラムを開催し、各地域の事例紹介やユニバーサル機器の展示体験を実施。（会場：Rako華乃井）

・オンライン配信も同時に行い、参加者数は120名。参加者アンケートでは、回答者の約9割が「今後UTにむけ取り組んでいきたい」と回答し、UT推進への機運醸成につながった。



③ Japan Alps Cyclingブランドの構築

・サイクルツーリズムの推進にオール長野で取り組む「JapanAlpsCyclingプロジェクト」による自転車総合サイト「JapanAlpsCycling」の運営

・長野県1周ルート「JapanAlpsCyclingRoad」におけるルート未確定地域（7地域）において検討会議を開催し、令和5年3月に全10地域のルート合意



7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	宿泊業、飲食サービス業就業者数(各年末)	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
就業者数は徐々に回復傾向にありコロナ禍前の令和元年の状況に戻つつあるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化により、目標未達成となった。							
指標②	ユニバーサルツーリズム専門人材数（累積）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
各地域の意欲的な取組及び地域需要の掘り起こしにより、計画的に事業が実施できたことで目標を達成した。							
指標③	サイクルツーリズムの取組を地域で主導する人材数（累積）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症の影響により、ガイド養成講座への参加者数が確保できず目標未達成となった。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

【おもてなしの推進】

・おもてなしマイスターの養成は一定程度進んだが、コロナ禍における観光客のニーズ変化に対応していく必要がある。

【ユニバーサルツーリズムの推進】

・県内の取組状況に地域差があるため一層の人材育成のほか、先進事例を県内事業者へ発信し浸透させる必要がある。

【サイクルツーリズムの推進】

・全長800kmを超える長野県1周ルート「Japan Alps Cycling Road」上の各地域ルートの魅力・多様性を最大限活用できるよう、上級者からビギナーまで幅広いユーザーに向けたサイクルツーリズムの情報発信が必要。

・サイクリストや一般ユーザーの知名度向上とブランド化を進めるため、国のナショナルサイクリングルート指定に向けた環境整備促進が必要。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

【おもてなしの推進】

・これまでのおもてなしに係る内容を含め、様々なニーズに対応した人材育成等の取組を検討していく。

【ユニバーサルツーリズムの推進】

・引き続き現場で活躍する実務人材の育成、県内観光事業者のユニバーサルツーリズム推進への意識付けや受入環境づくりを促進。

・今後の県内外の学習旅行の誘客につなげていくため、専門人材を活用した学習旅行プログラムの企画・立案・実施を行う。

【サイクルツーリズムの推進】

・「Japan Alps Cycling」公式サイトに掲載内容を充実させ、幅広いサイクリストへの情報発信を強化する。

・「Japan Alps Cycling Road」のナショナルサイクリングロード指定に向け、受入環境・走行環境ともに整備を促進。

事業名	観光産業受入環境向上事業	部局	観光部	課・室	観光誘客課
-----	---------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	観光おもてなし推進事業		707 千円	1,469 千円	1,078 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州おもてなしフォーラムの開催	委託	これまで養成してきた県内各地のおもてなしマイスターと連携し、県民誰もが参加できる「おもてなし」の取組の啓発イベントを開催。また、開催月である11月を「おもてなし月間」として本事業の取組を集中的にPRした。 令和4年11月に信州おもてなしフォーラムを開催。参加人数：103名		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	観光業就業促進・生産性向上対策事業		3,374 千円	5,139 千円	1,203 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	観光業ビジネスモデル改革実践セミナーの開催	委託	Withコロナ・Afterコロナにおけるビジネスモデル改革の促進に向けたセミナーを開催 信州観光業経営力向上セミナーを開催（開催数：3回、参加者数：39名）		
2	観光業就業促進・生産性向上協議会の運営	直接	ヒアリング等により、観光業の人材確保や働き方改革、生産性の向上等に向けて必要な取組を調査 観光事業者への個別ヒアリング（対象：19者）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	ユニバーサルツーリズム推進事業		1,377 千円	2,781 千円	2,540 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	受入環境づくり（人材育成・モデルコースの機能強化）	負担金	信州大学と共同で、ユニバーサルツーリズムに係る専門知識を持つ人材の育成及び県内小・中・特別支援学校等と連携した学習旅行の実証事業を行い、受入環境づくりを推進 専門人材の育成（7名）県内小・中・特別支援学校等と連携した学習旅行実証事業（7校）		
2	信州型ユニバーサルツーリズムの発信強化	委託 負担金	県内フォーラムの開催を通じて、各地のユニバーサルツーリズム関連旅行商品や専門人材の紹介等し、信州型ユニバーサルツーリズムをPR 信州ユニバーサルツーリズムフォーラムの開催（開催数：1回、参加人数：120名）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	Japan Alps Cyclingブランド構築事業		3,874 千円	4,400 千円	4,150 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	Japan Alps Cyclingプロジェクト負担金	負担金	サイクルツーリズムの推進に取り組むJapan Alps Cycling プロジェクトと連携し、総合サイト「Japan Alps Cycling」の運営や、モニターツアーの開催、地域の取組を主導する人材育成を推進 自転車総合サイト「JapanAlpsCycling」の運営（年間）、サイクリングガイド育成（4名）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	信州フィルムコミッションネットワーク推進事業		6,000 千円	6,176 千円	6,108 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州フィルムコミッションネットワーク活動の推進	負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・県内でフィルムコミッションに取り組む市町村、団体等で構成する信州フィルムコミッションネットワーク連絡会議の運営を通じ、関係機関の連携を促進 ・市町村等によるロケ受入を支援、相談窓口の設置 ・映画、番組等ロケの誘致及び公開作品のPR 連絡会議の開催数：5回、ロケ誘致・ロケ支援数：13作品		